

Rotary



2022-2023 年度 国際ロータリー第 2670 地区
高松グリーンロータリークラブ

発行日
2022 年 1 月 19 日

2022-2023 年度
国際ロータリーのテーマ

NO.
1364



WEEKLY REPORT

■例会場:ホテルマリパレスさぬき

高松市福岡町 2 丁目 3-4

■例会日:毎週木曜日 PM6:30 より

■事務局:E-mail : t.green.rc@gmail.com

■URL:http://tgrc.jp

会長:平田 真由美 幹事:太田 貴道

今週プログラム

● 1 月 19 日 (1364 回)

委員会事業 職業分類会員選考委員会 理事会

次週プログラム

● 1 月 26 日 (1365 回)

移動例会 1/27 職場訪問例会 瀬戸内海放送

先週プログラム

● 1 月 12 日 (1363 回)

卓話 濱田会員

第 1364 回 例会報告 1 月 19 日

我がクラブの強みを考え、何ができるか想像し、そして次につなごう

□ プログラム委員会より

◀ 1 月度例会 スケジュール ▶

* 01/05 1362 回 新年例会 年頭挨拶 友翠会 國桜

* 01/12 1363 回 卓話 濱田会員

* 01/19 1364 回 委員会事業 職業分類会員選考委員会 理事会

* 01/26 1365 回 移動例会 1/27 職場訪問例会 瀬戸内海放送

□ 1/12 出席報告

● 会員数 : 36 名 ● 出席基準数 : 34 名

● 出席者数 : 29 名 ● 欠席者数 : 5 名

● 出席率 : 85.29% ● ビジター : 0 名

12 月 22 日 最終出席率 82.35% → 91.18%

最終欠席者名 : 早川・石橋・十河

□ 幹事報告

・ガバナー月信 1 月号をメールで送付しています。

・回覧

3/18 日 IM の参加申込み

□ 1/17 現在 メイクアップ

・ 1/6 高松西 RC 八田・塩田・高嶋 (由)・十河・早川

・ 1/10 高松東 RC 高嶋 (由)、十河

・ 1/11 香川大学創造工学部献血 濱田・澤田・平田・難波
向井・松野・八田・岩村

□ 休会

・なし

□ ニコニコ

・良いことがありました。ありがとうございます。/高嶋(浩)

・濱田さん、献血活動おつかれ様でした。/寛

□ 例会臨時変更

○ 1 月 16 日 (月) 高松北 RC は、1 月 16 日 (月) 18 : 30 「JR ホテルクレメント高松・新年会」に変更

○ 1 月 16 日 (月) 東かがわ RC は、1 月 16 日 (月) 18 : 30 「味道源・夜間例会 (新年会)」に変更

○ 1 月 17 日 (火) 高松東 RC は、1 月 17 日 18 : 30 「JR ホテルクレメント高松」に変更

○ 1 月 17 日 (火) 丸亀東 RC は、1 月 17 日 (火) 19 : 00 「オークラホテル丸亀」に変更

○ 1 月 17 日 (火) 観音寺東 RC は、1 月 17 日 (火) 18 : 30 「観音寺グランドホテル」に変更

○ 1 月 19 日 (木) 丸亀 RC は、1 月 17 日 (火) 19 : 00 「オークラホテル丸亀」に変更

○ 1 月 24 日 (火) 高松東 RC は、1 月 28 日 (土) 10 : 30 「四国水族館・職場例会」に変更

○ 1 月 26 日 (木) 高松グリーン RC は、1 月 27 日 (金) 12 : 30 「(株) KSB 瀬戸内海放送・職場例会」に変更

○ 1 月 30 日 (月) 高松北 RC は、1 月 30 日 (月) 12 : 30 「フリーラウンジ ハーモニー・職場訪問例会」に変更

○ 2 月 21 日 (火) 観音寺東 RC は、2 月 21 日 (火) 18 : 30 「観音寺グランドホテル」に変更

□ 会長挨拶

30周年記念式典まで100日をきりました。
全員全力で協力よろしくお願ひいたします。
今日は、濱田会員の卓話です。

(※1月12日 会長あいさつより抜粋)

後記

濱田会員の無茶ブリ炸裂。30周年の各事業の報告会に様変わりでした。委員長様方本当にご苦労様でした。海洋プラスチックごみの映像ありがとうございました。少々むごい内容でしたが、実態そのものなので、会員皆様には届いたと信じます。

以上

◀ コラム ▶

ウメの花言葉は「高潔」「忠実」「忍耐」。

花の色による花言葉もあります。赤い梅の花言葉は「優美な人・優雅」白梅の花言葉は「気品」です。白梅の「気品」の花言葉は、あでやかな紅梅に対して、白梅の凜として品のある姿に由来します。

「忠実」の花言葉は、大宰府へ左遷された菅原道真の後を追って空を飛んだというウメの「飛梅伝説」にちなむといわれます。菅原道真が詠んだ「東風(こち)吹かば にほひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ」という歌をその梅が聞きつけ、一晩で菅原道真を追って飛んできたという伝説です。

平安時代の貴族・菅原道真(すがわらのみちざね / 845~903)は、公卿・藤原時平(871~909)との政争に敗れ、遠く九州・筑前国の大宰府へ左遷されることになりました。道真はとりわけ愛でてきたウメの木、サクラの木、マツの木との別れを惜しみます。道真を慕う庭木たちのうち、サクラは悲しみに暮れてついには枯れてしまいました。ウメとマツは道真の後を追って空を飛びます。しかし、マツは途中で力尽き、摂津国八部郡板宿近くの丘に降り立ち、この地に根をおろしました(飛松伝説)。ウメは一夜のうちに大宰府まで飛んでゆき、その地に降り立ったといいます。

梅は春を告げる縁起のいいお花です。改めて梅を見に行きませんか。



表彰



濱田会員 卓話